

# JSP

ニュース

2020年 冬

# No.89

証券コード：7942

2020年4月1日～2020年9月30日





代表取締役社長 酒井 幸男

## JSPニュース No.89 Contents

社長メッセージ	01
特集	03
トピックス	05
連結財務ハイライト/ 連結セグメント情報	07
株主優待制度／配当実績	09
会社情報	10

## 1 はじめに

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。昨年末に中国武漢市で発生した新型コロナウイルス感染症は、あっという間に世界中に広がり、大きな影響を与えています。一時収束しつつあるように見えてましたが、世界的には第2波の真っ只中で、収束の見通しが立ちません。世界各国が協力して、新型コロナウイルスの感染拡大を収束させ、ワクチンと治療法を確立することに努めなければなりません。それまでは、感染拡大防止と経済活動のバランスを取ると言う難しい状況が続くと思いますが、当社グループも力を結集し、この難局を乗り越えたいと思います。

## 2 上期の振り返り

上期の世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により急激に減速しました。制限されていた経済・社会活動の段階的な再開後は、生産や個人消費などは緩やかな回復基調となりましたが、感染症の収束時期が見通せず、先行き不透明な状況となりました。日本経済は、世界的な経済活動の制限や緊急事態宣言に伴う影響により急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後は、輸出や生産など、一部に持ち直しの動きがみられました。

国内発泡プラスチック業界におきましては、食品分野などにおいて、巣ごもり・テイクアウト需要が増加しましたが、水産、工業及び建材分野などでは、経済活動の制限な

どにより需要が低下し、非常に厳しい状況となりました。

当社グループの経営成績は、売上高は、食品分野での需要増加は有りましたが、世界的な経済活動の制限に伴う需要低下の影響により昨年同期を下回りました。営業利益は、需要低下や都市封鎖に伴う生産活動への影響などから昨年同期を下回りました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、48,080百万円となりました。利益面では、営業利益は1,284百万円、経常利益は為替差損の計上などにより1,268百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は908百万円となりました。

### 3 下期の見通し

下期の世界経済は、回復軌道に乗る見通しとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の収束の見通しは未だ不透明であり、緩やかな回復に留まる見通しです。国内販売は前年同期並みの数量まで回復するには至らず、同様に海外販売も前年同期を下回る見込みです。その結果2021年3月期の連結業績予想は、売上高は、100,000百万円、営業利益は3,200百万円、経常利益は3,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,200百万円を予想しています。

コロナ禍、EUはサーキュラーエコノミーに、日本も菅首相が2050年までに温暖化ガス排出量の実質ゼロを宣言しました。官民挙げての取り組みが必要です。中国では2035年までにガソリン車を排除して、すべて環境車への

移行検討をはじめました。我々もこのコロナ禍で考え方を換え、経済成長と環境負荷低減の両立を図り、循環経済に向けて全社を挙げて取り組む所存です。欧州では、再生ポリプロピレンを25%配合した環境対応グレードのARPRO（ピーブロック）を販売しています。このような取り組みをさらに加速してまいります。

### 4 株主・投資家の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くかは不透明です。現在は第2波で、今後は第3波も警戒しなければなりません。今は感染拡大防止と経済活動の両立を図らなければなりません、非常に厳しい状況です。全社一丸となって新たな仕事の仕方に取り組み、この難局を乗り越えたいと思います。株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご指導とご支援をたまわりますようお願い申し上げます。

2020年12月

酒井 幸男

新型コロナウイルス感染症の拡大は、現在においても世界経済に大きな影響を与えています。JSPにとって押出、



### 感染拡大に伴う上期の影響

生活資材分野は、外出の自粛や訪日外国人の激減により、行楽・観光・展示会関連資材の需要減少がありました。巣ごもり需要で食品トレー・持ち帰り弁当容器・カップ麺容器等は好調に推移しました。産業資材分野の汎用包装資材ミラマット、キャブロン等も、コロナ禍の影響で販売が低迷しましたが、当社の成長エンジンの一つであるFPD関連の表面保護材は、堅調に推移しました。建築・住宅分野で使用されるミラフォームは、新規住宅の建替や、購入マインドの低下により着工件数減少の影響を受けましたが、土木分野では、高規格道路の拡幅工事等の大型物件もあり好調に推移しました。

### 下期見通し

下期に入り、経済活動も、正常化に向かいつつ、人出や消費なども徐々に戻ってきました。

回復のスピードは、業種や業態によって濃淡はあります。生活資材分野の食品包材は、下期も安定した需要が見込まれる

と思います。また、産業資材分野は、国内自動車生産の回復によって、部品関連の調達物流資材需要が回復すると共に、FPD関連の表面保護材分野も、引き続き堅調に推移するでしょう。建築・住宅分野では、着工が徐々に回復し、割り付け断裁とミラフォームラムダを軸に、堅調に推移すると思われます。

### アフターコロナのビジネスチャンス

生活資材分野は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ為に、外出自粛や営業自粛により、食品トレーや持ち帰り弁当容器等の需要が伸びました。アフターコロナの新しい日常でも、その需要は継続すると思われます。その一方で、海洋ごみ問題をはじめとする環境課題の対応の重要性が一層増加しております。そこで、環境に配慮した新たな製品設計が重要課題であり、そこに新たなチャンスがあると考えております。

産業資材分野では、FPD関連の表面保護材は、在宅・テレワーク勤務等によるTV・PC・モニターの需要増と、有機ELや8K等の高精細化パネルの伸長により、ミラマットエース等の高性能な表面保護材の用途が伸長すると思います。

建築土木資材分野では、コロナ禍の影響により、住宅での滞在時間が増加し、住宅に求められる役割や機能が増えています。巣ごもりや在宅生活に対応する空間の質的向上を図った住環境の改善が求められておりますので、高付加価値住宅(高气密・高断熱)が更に普及し、ミラフォームの需要増が期待されます。また土木分野でも、戦略製品であるJ-ウォールブロックも、国交省のNETIS登録によって採用拡大が期待されます。

最後に、アフターコロナの世界で「変化はチャンス、斬新な発想とJSPグループの力の結集を!」

ビーズ両事業にどれほどの影響があったのか？ またアフターコロナの世界への取り組みをインタビューしました。



## 感染拡大に伴う上期の影響

ビーズ事業の内、EPP(ピーブロック等)事業は国内外共、過去に経験が無い程の深刻な影響を受けました。当事業は、部品や関連資材含め自動車産業向けの比率が高く、各国のお客様工場の一時閉鎖や生産調整に伴い、販売量が大幅に減少しました。これは2月の中国、韓国を皮切りに、4月には北米、欧州、続いて5月に日本、シンガポール、南米へと波及しました。幸い自動車分野の比率が少ない台湾だけは影響を免れました。一方、EPS(スチロダイア等)事業に関しては、自動車や水産関連等は落ち込んだものの、全体的にはEPP事業程のマイナスとはなりません。いずれにしてもビーズ事業としては極めて厳しい期間となりました。

## 下期見通し

各国の感染状況沈静化や経済対策等で、地域毎に回復速度の違いはありますが、下期は全般的に回復基調にあります。年間を通じてみると当初計画されていた新規部材や資材の立ち

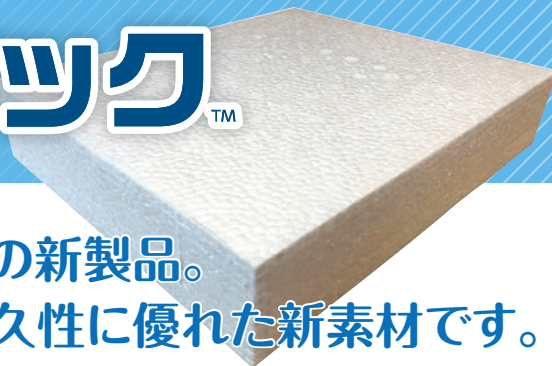
上げ延期の影響を受けましたが、延期された分は来期以降に着実にキャッチアップ出来ますので更に回復していくと捉えています。

## アフターコロナのビジネスチャンス

今般のコロナ禍で、今後の事業運営に関し様々な教訓が得られました。先ずBCPの観点から、特定の分野に偏らない多角的な市場及び商品開発、受注量の大幅な変動に備え、フレキシブルな生産体制の構築等、対処すべき課題が明確になって来ました。幸い、EPPもEPSも成形素材として様々な分野へ提案出来る無限の可能性を秘めており、今回のピンチを将来のチャンスへと転換可能であると考えております。実際、各地域で巣ごもり需要に因る増販や特需も見られました。例えば北米ではDIY商品である庭の敷石下地材や食材宅配用大型保冷ボックス、国内では、食品配送容器や癒し系クッション用ビーズ、地域を問わずネットショッピング向けの搬送ボックス等が挙げられます。又、一時的に大幅減となった自動車分野ですが、比較的感染対策が取り易い移動手段として、自家用車需要の拡大も期待されます。その様な分野を中心に、SDGsを意識した環境対応型の商品を順次市場投入し、社会のニーズに応えられる事業展開に注力して行きたいと考えております。

新製品  
情報

## エアブロック™



革新的なJSPオリジナル素材の新製品。  
高発泡(省資源)で緩衝性、耐久性に優れた新素材です。

この度、お取引先様のご要望に応えるべく、ビーズ法型内発泡成形体の新たなラインナップとして、高発泡製品エアブロックが誕生しました。JSPの独自技術により、ポリプロピレンの剛性と、ポリエチレンの緩衝性を併せ持ち、帯電防止機能も付加した、他社にはないオリジナル新素材です。

ピーブロック、エルブロック-E、ミラブロック-Eと共に平板の新グレードとして販売します。

## 特長

ポリエチレン  
の緩衝性ポリプロピレン  
の剛性帯電防止  
機能

## 用途

自動車部品・パソコン・テレビなどの緩衝材



問い合わせ先

JSP 高機能材事業部 機能材部  
TEL:03-6212-6356

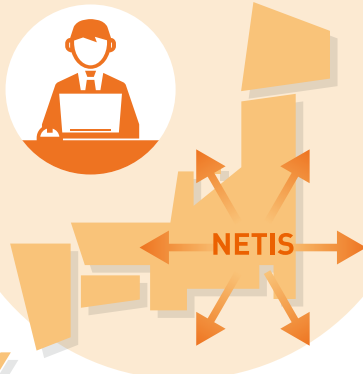
NEWS

# J-ウォールブロック

**国土交通省の新技术情報提供システムNETISに登録。  
今後更なる拡大が期待されます。**

J-ウォールブロックは、発泡プラスチックに壁面材を取り付けた土木用資材で、工事現場ではH形鋼の建て込み作業が不要になります。更に内部に鉄筋を通すことにより正確で効率的な施工が可能となり、盛土などの従来工法と比べて工期を7割も短縮できることから、建設業界が抱えている人手不足問題に省力化で応える注目を集める土木資材です。

このJ-ウォールブロックが、NETISに登録されました。NETISとはNew Technology Information System(新技术情報提供システム)の略で、国土交通省が新技术に関わる情報共有および提供する目的でデータベース運用されており、行政と民間のいずれからもアクセスすることができます。NETISに登録されたことにより、今後更に公共工事等で使用されることが期待できます。



施工例①



施工例②

## 問い合わせ先

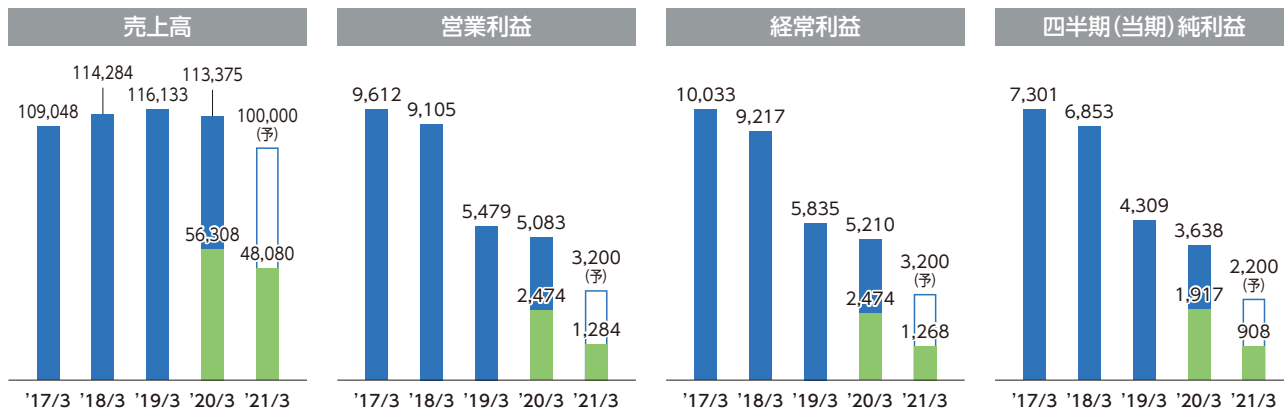
JSP 建築土木資材事業部 土木資材部  
TEL:03-6212-6364

# 連結財務ハイライト

## Consolidated Financial Highlights

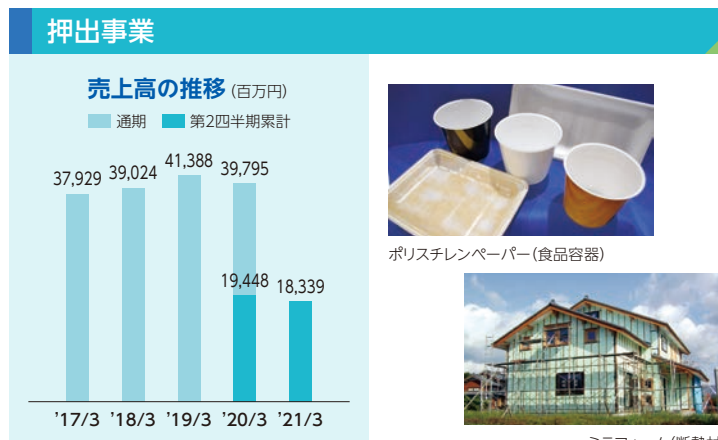
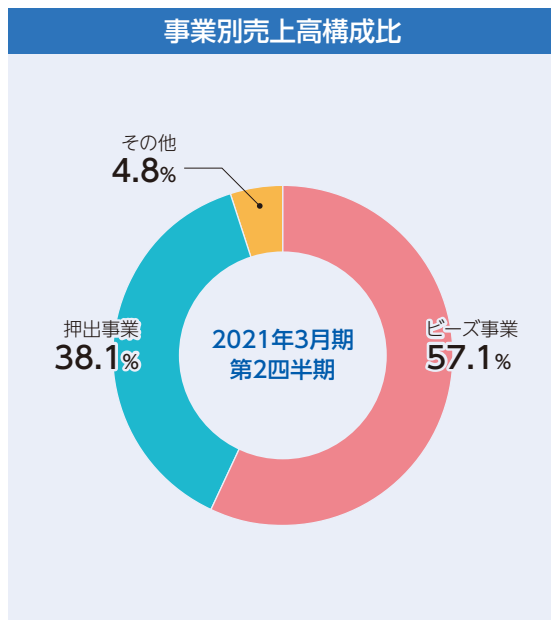
■ 通期 ■ 第2四半期累計

(単位:百万円)



# 連結セグメント情報

## Consolidated Segment Information



食品容器用の発泡ポリスチレンシート「スチレンペーパー」を中心とした生活資材製品は、食品トレー向け分野の販売は増加しました。広告宣伝用資材「ミラボード」は低調に推移しました。産業用包装材「ミラマット」は売上が減少しました。「ミラフォーム」は、土木分野向けは好調でしたが、建築・住宅分野向けが低調に推移したことから前年並みとなりました。

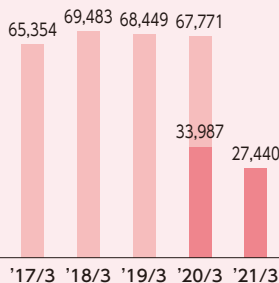


(単位:百万円)	2017/3	2018/3	2019/3	2019/9	2020/3	2020/9
売上高	109,048	114,284	116,133	56,308	113,375	48,080
営業利益	9,612	9,105	5,479	2,474	5,083	1,284
経常利益	10,033	9,217	5,835	2,474	5,210	1,268
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	7,301	6,853	4,309	1,917	3,638	908
純資産	76,778	84,105	84,141	83,944	84,646	83,389
総資産	113,151	125,270	129,229	127,738	128,445	126,211

## ビーズ事業

### 売上高の推移 (百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期累計



ピーブロック(自動車部材)



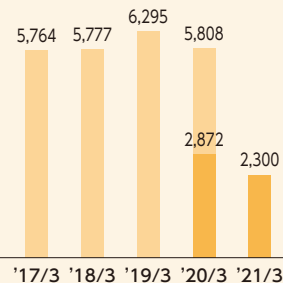
スチロダイア(魚箱・野菜箱)

発泡ポリプロピレン「ピーブロック」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による都市封鎖や自動車メーカーにおける工場稼働停止の影響などにより、販売数量及び売上は減少しました。発泡性ポリスチレン「スチロダイア」を中心とした発泡性ビーズ製品は、水産・農業分野での需要の減少などにより売上は減少しました。

## その他

### 売上高の推移 (百万円)

■ 通期 ■ 第2四半期累計



一般包材は、自動車部品輸送関連等の販売が減少したことから売上は減少しました。中国では、各種部品関連の需要が低調に推移したことにより売上は減少しました。

### 株主優待制度



(デザイン見本)

#### ■対象株主様

毎年3月31日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載または登録された1単元(100株)以上を保有されている株主様

#### ■優待の内容

一律3,000円相当の、社会貢献寄附金付オリジナルクオカード(株主様は3,000円全額ご使用いただけます)

#### ■贈呈の時期

毎年の株主総会終了後に発送予定

#### ■社会貢献寄附金「緑の募金」について

1995年に制定された「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づき、(公社)国土緑化推進機構及び各都道府県緑化推進委員会が行っている募金です。集められた寄附金は、森林整備・緑化推進事業・森林に関わる人づくりなどに活用されています。

### 配当実績

#### ■株主還元方針

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な政策として位置付けております。利益の配分につきましては、安定した配当を重視するとともに、各事業年度の連結業績と将来の事業展開に必要な内部留保の充実などを勘案しながら、総合的に決定する方針としております。

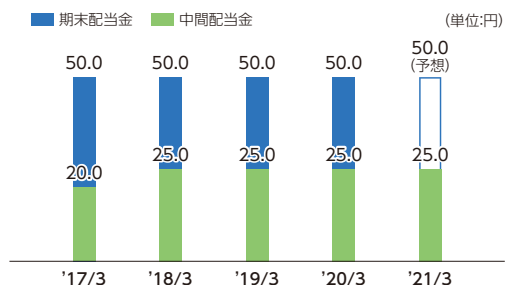
内部留保資金につきましては、財務体質の強化とともに、今後の新製品、新技術への研究開発投資や新規事業展開のための設備投資に充当してまいります。

なお、当社は、会社法第459条第1項に基づく剰余金の配当を取締役会決議により行うことができる旨定款に定めており、中間配当及び期末配当の年2回の取締役会決議による配当を基本的な方針としております。

#### ■当期配当金

2021年3月期第2四半期の1株当たりの配当金は25円とさせていただきます。期末配当金は1株当たり25円(通期配当金額50円)とさせていただきます。

#### ■配当実績



### 会社概要

**商号** 株式会社JSP  
**所在地** 本社 東京都千代田区丸の内三丁目4番2号  
**事業内容** 発泡プラスチック、  
 その他合成樹脂製品の製造販売および輸出、  
 土木・建築工事の設計・請負および管理  
**設立** 1962年(昭和37年)1月  
**資本金** 10,128百万円  
**決算期** 3月  
**従業員数** 784名(出向者除く)  
 連結3,054名(国内:1,379名、海外:1,675名)  
**事業所他** 5営業所、1出張所、11工場、2研究所  
**主要関係会社** 国内9社、海外27社

### 大株主

株主名	株数(千株)
三菱瓦斯化学株式会社	16,020
株式会社日本カストディ銀行	2,464
JSP取引先持株会	1,164
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	859
ジェーピー モルガン バンク ルクセンブルグ エスエイ 380578	628
RE FUND 107-CLIENT AC	500
SMBC日興証券株式会社	332
JSP従業員持株会	304
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	241
日本生命保険相互会社	241

当社は自己株式1,604千株保有しておりますが、上記の大株主からは除外しております。

### 株主メモ

**事業年度** 4月1日～翌年3月31日  
**期末配当金受領株主  
 確定日** 3月31日  
**中間配当金受領株主  
 確定日** 9月30日  
**定時株主総会** 毎年6月  
**株主名簿管理人** 三菱UFJ信託銀行株式会社  
**特別口座の口座管理機関**  
**同連絡先** 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 証券代行部  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 TEL 0120-232-711(通話料無料)  
 (郵送先) 〒137-8081  
 新東京郵便局私書箱29号

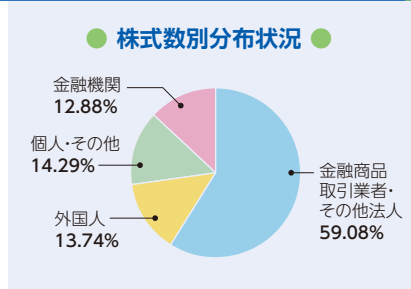
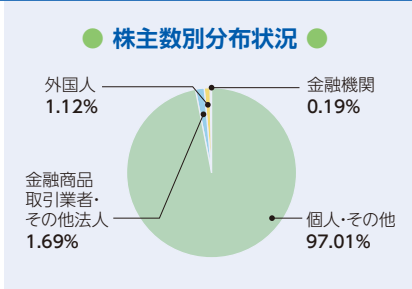
**上場証券取引所** 東京証券取引所  
**公告の方法** 電子公告により行う  
<https://www.co-jsp.co.jp/ir/index.html>  
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

### 株式の状況

**発行可能株式総数** 46,000,000株  
**発行済株式の総数** 31,413,473株  
**株主総数** 14,045名



# 本社・事業所一覧

Network

本 社		TEL
〒100-0005	東京都千代田区丸の内3-4-2(新日石ビル)	03-6212-6300

営業所		
札幌	〒060-0003 札幌市中央区北3条西1-1(サンメモリアビル)	011-231-2681
仙台	〒980-0811 仙台市青葉区一番町2-4-1(読売仙台一番町ビル)	022-262-3271
名古屋	〒460-0003 名古屋市中区錦3-4-6(桜通大津第一生命ビル)	052-962-3225
大阪	〒541-0053 大阪市中央区本町1-6-16(いちご堀筋本町ビル)	06-6264-7900
福岡	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-12-17(五幸ビル)	092-411-6854

出張所		
広島	〒732-0052 広島市東区光町1-12-20(もみじ広島光町ビル)	082-568-0566

工 場		
北海道	〒067-0051 北海道江別市工栄町23-4	011-384-1621
鹿沼第一	〒322-8511 栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼第二	〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町5	0289-76-3271
鹿沼第三	〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町10-2	0289-76-5905
鹿沼ミラフォーム	〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町13-1	(FAX)0289-76-3227
事務管理センター	〒322-8511 栃木県鹿沼市さつき町17	0289-76-2211
鹿沼物流センター	〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町13-1	0289-76-2121
再資源センター	〒322-0026 栃木県鹿沼市茂呂638	0289-76-6606
開発センター	〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町6-1	0289-76-3815
鹿島	〒314-0103 茨城県神栖市東深芝16-3	0299-93-4111
四日市第一	〒510-0881 三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1220
四日市第二	〒510-0955 三重県四日市市北小松町1600	059-328-2563
関西	〒679-4304 兵庫県たつの市新宮町下笹515	0791-77-0213
北九州	〒800-0229 福岡県北九州市小倉南区曾根北町2937-7	093-474-7211
九州	〒861-0111 熊本県熊本市北区植木町宮原553	096-274-7101

研究所		
鹿沼	〒322-0014 栃木県鹿沼市さつき町10-3	0289-76-1600
四日市	〒510-0881 三重県四日市市大字六呂見653-2	059-345-1245

海 外	
<b>北 米</b>	<b>アジア</b>
JSP International, LLC. (アメリカ)	JSP Foam Products, PTE. Ltd. (シンガポール)
JSP International de Mexico, S.A. de C.V. (メキシコ)	Taiwan JSP Chemical Co., Ltd. (台湾)
<b>南 米</b>	KOSPA Corporation (韓国)
JSP Brasil Indústria De Plásticos Ltda. (ブラジル)	JSP Advanced Materials (Wuxi) Co., Ltd. (中国)
<b>欧 州</b>	JSP Plastics (Shanghai) Co., Ltd. (中国)
JSP International S.A.R.L (フランス)	Kunshan JSP Seihoku Packaging Material Co., Ltd. (中国)
JSP International s.r.o. (チェコ)	JSP Advanced Materials (Dongguan) Co., Ltd. (中国)
JSP International o.o.o. (ロシア)	JSP Advanced Materials (Wuhan) Co., Ltd. (中国)
	JSP Foam India Pvt. Ltd. (インド)
	JSP Foam Products (Thailand) Co., Ltd. (タイ)

発行 株式会社 JSP

東京都千代田区丸の内三丁目4番2号新日石ビル  
 広報IR室 TEL.03-6212-6306 FAX.03-6212-6302  
 ホームページ www.co-jsp.co.jp



古紙配合率70%再生紙を使用しています